

『紫式部』を読み解く

『源氏物語』と『紫式部日記』に迫る

◆原文テキストは古典セレクション『源氏物語』(全十六冊) (小学館)

第1回 9月15日(日) 『紫式部日記』①
「桐壺」「夕顔」「若紫」「葵」

第2回 10月20日(日) 『紫式部日記』②
「賢木」「須磨」「明石」「蓮生」「閨屋」「絵合」

第3回 11月17日(日) 『紫式部日記』③
「薄雲」「朝顔」「少女」「玉鬘」「蛍」「常夏」

第4回 12月15日(日) 『紫式部日記』④
「野分」「行幸」「真木柱」「若菜上」「若菜下」

第5回 1月19日(日) 『紫式部日記』⑤
「横笛」「鈴虫」「夕霧」「御法」「幻」「匂兵部卿」「紅梅」

第6回 2月16日(日) 『紫式部日記』⑥
「橋姫」「総角」「宿木」「手習」「夢浮橋」

場所 図書情報館3階 健康支援室・講座室

対象 一般(高校生以上)

講師 河原徳子(文芸評論家)

定員 50名

申込み開始 8月7日(水) 午前9時から開始

申込み 電話・FAX・メールのいずれかで

お申込みください 申込順に受付

①名前 ②連絡先

講師▼河原 徳子氏(文芸評論家)

徳島市生まれ 鈴鹿市在住 日本文学研究家
朗読サークル「パティオ」主宰

三重県生涯学習センター、鈴鹿市民大学等で20年以上講師をつとめる。

『となりの文豪』風媒社で平成26年斎藤綠雨文化賞受賞

安城市では平成27年度「女流文学講座」を開催して以降
毎年古典文学を中心に講座を開催。

令和6年2月『ものがたりの舞台』を風媒社から出版。